

佐伯市の大分都市広域圏への加入について

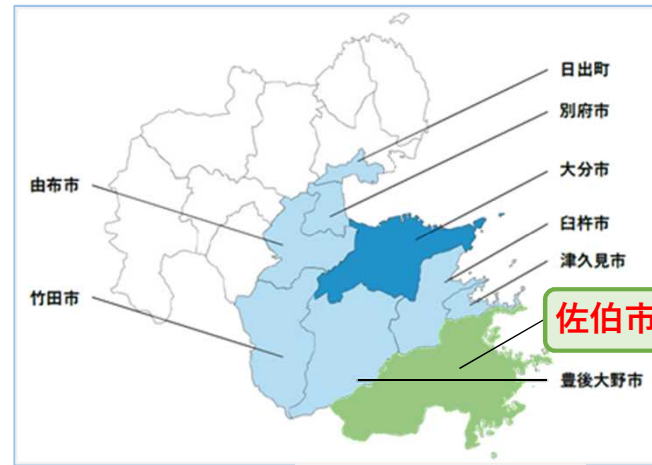
令和8年3月30日、佐伯市は大分市と大分都市広域圏への加入に係る連携協約を締結し、**大分都市広域圏は9市町の新たな圏域を形成しました。** 今後は、新たに策定した「第3期大分都市広域圏ビジョン」に基づき、各市町との連携による取組を一層推進していきます。

■大分都市広域圏について

国が提唱する「連携中枢都市圏構想（※）」に沿い、平成28年3月に大分市を連携中枢都市として、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町のそれぞれと連携協約を締結し、「大分都市広域圏」を形成しました。

圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に向け、各市町と連携して取組を進めています。

※連携中枢都市圏構想とは、人口減少・少子高齢社会にあっても、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携することで、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点形成政策です。



■ 佐伯市加入後の圏域人口・面積

- ・圏域人口 **757,715人⇒824,566人**
※大分県人口（1,123,852人）に占める割合 **約73.4%**（令和2年国勢調査）
- ・圏域面積 **2471.66km²⇒3374.80km²**
※大分県面積（6340.76km²）に占める割合 **約53.2%**（国土交通省「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（4月1日時点）」）

■連携事業について

大分都市広域圏では各市町との連携により、圏域の住民サービスの向上に取り組んでいます。本市の加入により、事業のスケールメリットの拡大が期待できます。

公共施設の相互利用

圏域の住民であれば、圏域市町の公共施設を利用できる、公共施設の相互利用の取組を進めています。

佐伯市の「佐伯市総合運動公園」や「さいき城山桜ホール」など、45施設が、新たに利用できるようになります。

※令和8年4月1日 相互利用開始
相互利用施設数 225施設（佐伯市45施設含む）



[佐伯市総合運動公園]

地域子育て支援拠点事業実施施設の相互利用

圏域内の全ての地域子育て支援拠点施設（大分市での名称「こどもルーム」）を相互に利用できるようにすることで、圏域の子育て環境の充実を図り、圏域全体でこどもと子育て家庭を切れ目なく見守り支える、温かいまちづくりを進めています。

※令和8年4月1日 相互利用開始
相互利用施設数 43施設（佐伯市6施設含む）



[子育て・子育て支援室 さくらっ子「さくらっ子広場」]

未来創造塾（自治体職員の人材育成）

圏域の未来を担う若手職員の人材育成を目的に、圏域が抱える課題の調査・研究を自主的にを行い、課題解決に向けた施策の提案を行う政策研究チーム「未来創造塾」を実施しています。

令和8年4月からは、佐伯市の若手職員を加えた「第4期未来創造塾」を開講します。

※期間 約2年間
人数 18人程度（各市町2人程度）



[第3期未来創造塾]

佐伯市の大分都市広域圏への加入について

参考 大分都市広域圏の主な連携事業

● 下水汚泥燃料化事業

バイオマス資源である下水汚泥から固形燃料を製造し、石炭の代替燃料等として有価で販売することで、下水汚泥の処分先を長期安定的に確保するとともに、バイオマスエネルギーとして有効利用を図り、地球温暖化防止に資することを目的とするものです。

圏域市町を含む9市町の下水汚泥を受け入れることで広域化・共同化を促進し、将来にわたり持続可能な下水道事業を目指します。

【参加市町】

大分市、別府市、佐伯市、臼杵市、津久見市、豊後高田市、杵築市、国東市、日出町

● おおいた公共施設案内・予約システムの運用

公共施設の相互利用（※1ページ参照）を促進するため、圏域内の大半の文化・スポーツ施設の利用予約をオンラインで可能にするものです。

令和7年2月のシステムリニューアルでは、マイナンバーカードを活用したオンライン利用者登録や、オンラインキャッシュレス決済の機能を新たに実装しました。

今後もシステムでの案内・予約が可能な公共施設を増やし、圏域住民の利便性を向上させ、住民活動を支援・促進します。

【参加市町】

圏域内全市町（4月1日より佐伯市参加予定）

● 消防指令業務の共同運用

消防指令業務の共同運用を行うことで、消防指令設備等の整備に係る財政負担の軽減、指令業務に係る人員負担の軽減、災害情報・活動情報の一元管理による相互応援の迅速化等を図り、将来にわたって必要な消防体制を維持し、住民の安全・安心を確保するものです。

圏域市町を含む全県一区で、令和6年10月に本格運用を開始しました。

【参加市町村】

県内全市町村

● えひめ・おおいた交流事業

豊予海峡を挟んだ大分都市広域圏の9市町と愛媛県の9市町が連携して、圏域内の交流を促進し、圏域の魅力を発信する事業を実施することで、将来にわたり活力ある圏域経済の形成を目指すものです。

【主な実施事業】

- ・ えひめ・おおいた小学生相互交流事業
- ・ 郷土料理の学校給食体験事業
- ・ 愛媛&大分満喫周遊スタンプラリー

【参加市町】

圏域内全市町（佐伯市含む）及び愛媛県南予地域9市町



[おおいた公共施設案内・予約システム]



[おおいた消防指令センター]



[えひめ・おおいた小学生相互交流事業]